



「平成24年経済センサス活動調査」に
ご協力をお願いします!
～平成24年2月1日「経済の国勢調査」はじまる～



経済センサス

そろそろ秋が近づいてきました。栗のおいしい季節です。
茨城県は栗の収穫日本一！
茨城県のさまざまな統計データを掲載しています。

公表後のデータは↓

いばらき統計情報ネットワーク

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/>

をご覧ください♪

編集後記

裏表紙にもありますが、今年10月に5年ぶりとなる「社会生活基本調査」が実施されます。生活時間の使い方や余暇時間の活動状況など、社会生活の実態を明らかにし、仕事と生活の調和（ワークライフ・バランス）の推進や少子高齢化対策などに活用されています。

ここで、前回平成18年に実施された調査の結果で気になるものがあったのでご紹介します。

学生の学業時間を学年別に見ると、どの学年が一番多いと思いますか？ 男女別では、男子は高校3年生で、女子は中学3年生でそれぞれ一番多くなっていますが、総数でみると中学3年生が一番多いという結果になりました。大学生になると学業時間は大幅に短くなります。学年を重ねるにつれ、みんな自分のやりたいことや進むべき道を見つけていくのでしょうか。ただ、大学生の学業時間は、近年増加傾向にあるようで、まさに時代を反映しているように感じます。

この5年でたくさんの出来事やいろいろな進歩があって、自分も含め、人々の生活スタイルも大きく変わったように思います。時代の変化が、今回の調査でどのように表れるのか興味深いです。

(もとはし)

統計いばらき 2011.9 No.679

平成23年9月発行

編集／茨城県企画部統計課

発行／茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市笠原町978-6

電話 029-301-2637

FAX 029-301-2669

印刷所／コトブキ印刷株式会社